

## 可茂地区家庭教育学級応援通信

可茂県事務所 振興防災課  
家庭教育推進専門職 安田 早由里  
〒505-8508  
美濃加茂市古井町下古井 2610-1  
TEL : 0574-25-3111 内線 208  
FAX : 0574-25-3934  
令和5年度 1月号 (R6/1月発行)

# いいかも



一日、日付が変わるだけで気持ちがぐんと改まる新年。今年は、どんな年にしようかな。

## 可茂地区トレジャーワード

### 家庭教育楽しさ再発見！～関わろう・学び合おう・高めよう～



美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町



## 明けましておめでとうございます。 今年もよろしくお祈いします。

皆様お揃いで、新しい年をお迎えのことと存じます。昨年は、家庭教育学級の普及・啓発にご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。可茂地区の子ども達が、皆、健やかに育ちゆくことを願い、今年も、皆様の悩みや苦しみに寄り添いながら、家庭教育学級の充実と支援に努めて参りたいと思います。私たち大人には、未来を託す大切な子ども達を育てる（育む）という責務があります。時に、悩んだり、時に苦しんだり、大人は大人なりにいろいろな感情と向き合わねばなりません。そんな時、解決する学びの場があったら、人とコミュニケーションがとれたら、気持ちが随分楽になることでしょう。家庭教育学級を大いに活用してください。これからも、皆様のよき相談場所となれるよう努めてまいります。どうぞよろしくお祈いいたします。

## 令和5年度の役員の皆様へ ～そろそろこんな時期です～



＜今年度をまとめ、次年度へ引き継ぐ準備に取り掛かりましょう。＞

### ◇今年度の活動を振り返りましょう！

一年間の活動を振り返り、よかったこと学べたことを通信等で具体的に紹介してみてもどうでしょう。読んだ皆さんから、「行ってよかった」「行けばよかった」と思ってもらえるような伝え方ができるといいですね。

### ◇参加者の感想や要望を聞きましょう！

情報収集は、アンケート形式にしたり、閉級式・閉講式を活用したりします。話し合いをもつ際は、グループに分かれると発言しやすくなります。役員さんがそれぞれのグループに入って感想や意見を集約し、ここで出る要望やアイデアを、来年度の活動計画を立てる参考にしてもらいましょう。

### ◇一年を終えての役員としての感想を伝えましょう。

役員を引き受けた時の気持ちや閉級式・閉講式を迎える今の気持ちを話してください。頑張ってくださった役員さんの声は、参加者の心に響きます。来年度役員を引き受けてくださる方を勇気づけることになります。

### ◇参加・協力してくださった皆さんに感謝の思いを伝えましょう。

参加してくださった皆さんに、一緒に学べたこと、協力してもらえたことへの感謝の気持ちを伝えましょう。ここでできたご縁をこれからもつないでいけるとよいですね。

# オンライン講演会型



No.20

加茂郡白川町立佐見小学校 家庭教育学級

## 「こどもが育つ道すじ ～こどもと共に育つ～」

こどもの成長と変容について、学童期を中心に、21歳くらいまでどのような道筋で育っていくのか、また、こどもと共に、時に困難さを感じながらも親も育っていく人生の過程をお話ししていただけます。それぞれの年齢でのターニングポイント、思春期の子との向き合い方など、日々の子育てのヒントを持ち帰っていただけたらと思います。

R5. 11/14 (火) 13:00～14:30 参集型：ふれあいセンター研修室

自由参加型：自宅等（視聴可能な場所）

参加者：保護者 参集5名 オンライン4名 学校職員：2名

講師：日本シュタイナー幼児教育協会理事 宮地 陽子 氏

母親は、子どもとの関係の中で迷いつつ子育てをし、加えて親の養護、夫の仕事等、様々な苦勞を抱えている。大人自身が力づけられるような話をしたい。

知・情・意 ← 昔は、この三つがバランスよくという教育をしていた。今は、何かに特化する教育が多い。(例：外国語 ICT等)

頭・体・心 ← 連動し合っている どこか秀でているということではなく、バランスが大切。

＜人の成長には「身体の発達」と「内面の発達」があり、7年を一つのまとまりで考えていく。＞

### 7才まで

頭の上から下に向かって運動機能が発達していく。体が整ったら思考（内面）が発達する。7才までは、体を動かしながら自分のしたいことをする。

### 7才～14才まで

小学校に入った頃から、胸の部分（心臓・肺）が発達する。それに伴い感情が育つ。ものを感じる力が十分に満ちてきたら、やっと14才で判断する力が伸びてくる。

### 14才～21才まで

外からあてがわれるものについて、それだけでいいのかと違う部分への問いかけができるようになる。批判することで自分の立ち位置を確認する。おのずとそのイライラは家庭の中に向けられる。成人として自立していく過程であり、批判・反抗はあたりまえ。やがて家族と離れ社会に出ていく。

### ＜思春期の子への対応＞

ダメなときはダメとはっきり伝える。この頃の子は、自分の内面をがっちり守っているので対等である大人としての会話に心がけ、立ち入らない。ユーモアを忘れない。

～同志として語る～



### ☞ 人には、四つの気質がある。

同じ自分の子どもなのに受け入れられる子と愛情を通わせるのに苦慮する子がいる。どうしてだろう…？それは気質の違いがあるから。各々の質に「よさ」がある。そして、それぞれが混ざり合っている。この角度から考えてみると違いが受け入れやすくなる。

学級長さんが中心となり、講師選定や案内文書の作成等、意欲的にすすめてくださいました。参加者の負担軽減と効率を考慮し、前半に＜給食試食会＞後半に＜オンライン講座＞と、2本立ての学級でした。講師が遠方にお住まいのため、今回は、オンラインでの講座を計画しました。参集型の方、視聴可能な場所から各自で参加して下さった方と、各々の都合に合わせて選択することができました。

これから思春期を迎える子がいます。特に肝に銘じたことは、親であっても気易く立ち入ろうとしないことと同志として語っていき、新しい親子の関係性を築いていくことです。  
これから21才頃までの子どもの成長と関わり方について分かりやすく理解することができました。これから訪れる思春期についても喜ばしい成長と捉え、程よい距離感で関わっていけるように、私自身心に留めたいと思います。四つの気質について、子どもと自分の気質の違いやまた共通する部分を知ること、子どもとどう関わっていったらいいか気づきを得ることができました。



# 在宅取組型

No.21

美濃加茂市富加町中学校組合立 双葉中学校 家庭教育学級

## 「話そう！語ろう！わが家の約束」運動

1冊の本を家族全員で回し読み、その本を話題にして家族の会話を増やす取組です。秋の夜長、本に親しんでみませんか。年代ごとにどんな感想の違いがあるか、交流が楽しみです。交流後は、報告書を提出していただき、それを校内掲示で生徒・保護者に紹介します。  
**取組期間 R5・10/2～11/10 参加者：全校生徒・保護者**

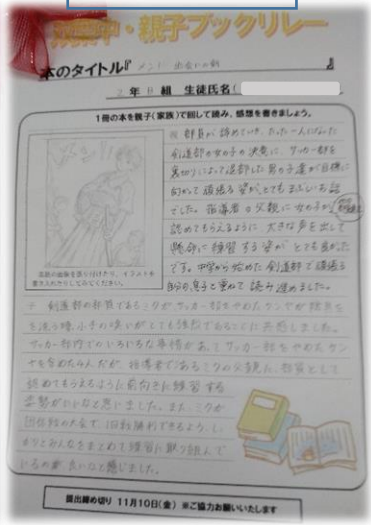
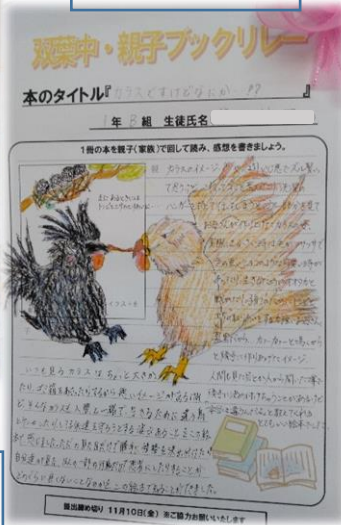
## 親子ブックリレー



廊下掲示で紹介

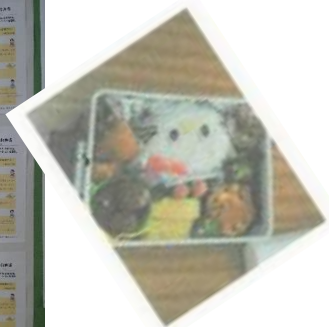
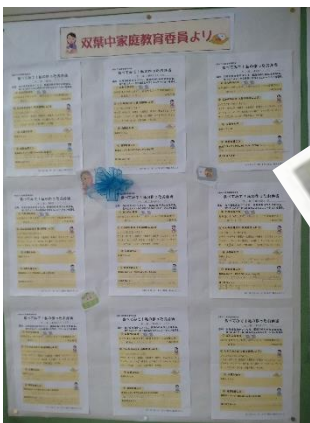
1年 女子生徒

2年 男子生徒



双葉中学校では、2学期に、二つの在宅取組を企画・実施されました。

- ①「親子ブックリレー」  
(10/2～11/10)
- ②「食べてみて！私の作ったお弁当」  
(11/3 (金))



「食べてみて！わたしの作ったお弁当」の取組では、生徒が自分と家族一人分のお弁当を作りました。自分好みの弁当やキャラ弁などを作ってきた生徒が多く、日頃の家族の支えを実感して感謝し、また家族にも食べてもらうことで、家庭のコミュニケーションの促進につなげることができました。(総括)

### <子どもの感想>

ただの見た目だけで勝手に性格を決めつけたり、自分達が見たほんの一部の行動だけで悪者にしたりすることがどのくらいよくないことなのか知ることができました。

### <親の感想>

真っ黒だからとか、カアカア鳴くからとか、勝手に作り上げたイメージ。人間も見た目とか人から聞いた噂で勝手に決めつけてしまうことがあるけれど「本当は違うんだよ。」と教えてくれるととてもいい本でした。

### <子どもの練習>

指導者であるミクの父親に部員として認めてもらえるように前向きに練習する姿がいいなと思いました。団体戦の大会で1回戦勝利ができるように、しっかりとみんなをまとめて練習に取り組んでいるのがいいなと思いました。

### <親の感想>

他の部員に認めてもらえるよう一生懸命練習する姿勢がいいなと思いました。中学から始めた剣道部で頑張る自分の息子と重ねて読み進めました。

### <親子ブックリレーの取組を終えて>

- 1冊の本を通して、親子でその本の面白さ、子どもの成長や考え、保護者の思いなどが親子で共有され、有意義な読書体験となった。
- 「この1冊にありがとう」全国読書週間(10/27～11/9)に合わせ案内を配付し、行事とも重ねて効果的に行うことができた。
- 生徒がよい本に出会うために、国語科や朝読書とタイアップすることで、より充実を図ることができる。学校と連携していきたい。
- 取り組めていない家庭への啓発の必要性を感じる。

# 園行事・体験活動参加型



No.22

## 加茂郡坂祝町立坂祝幼稚園 家庭教育学級

### 「親子運動あそび」「カレンダー作り」

「親子運動あそび」も「カレンダー作り」も、本園で10年近く続いている活動です。一緒に体を動かしたり相談しながら制作したりと、ふれあいも多くとても好評です。ここ数年は、カレンダー作りを在宅取組で行っていましたが、今年度から、園での活動を再開します。「運動あそび」とも組み合わせ、親子で楽しい時間を共有していただけたらと計画しました。

R5・11/27(月) 参加者：全園児・保護者(約160名) 園職員：19名

講師：「運動あそび」(株)リーベ 指導者 小林 拳大氏  
「カレンダー作り」 各担任

#### 「運動あそび」メニュー

- ・持ち上げて重さ(成長)を確かめる
- ・タオルぐるぐる
- ・親子でしっぽとり
- ・タオルキャッチ
- ・だるまさんがころんだ 等



#### 「親子運動あそび」小林コーチより

子どもにとって、身近な大人といっぱい遊ぶことはとても大切です。全力で遊ぶ子ども達に寄り添った大人でありたいものです。

#### 「カレンダー作り」～作り方の説明～



- ・「たつ」を切り取る。
- ・切り取った「たつ」を貼り付ける。
- ・イラストや文字を加える。
- ・紐を通す。



- ・すごい、上手に切ったね。
- ・そっと貼ろうね。
- ・「ママ、ここでいい？」じゃあ、ここに目を描こうよ。
- ・上手だね。いっぱい描けたね。



- ・カレンダーをくっつける。
- ・土台にあるものをもとに、色を塗ったり、絵を加えたりする。
- ・自分の名前を書く。

「運動あそび」  
親も子も笑顔いっぱい。とても楽しそうに体を動かし、いい汗をかきました。

「カレンダー作り」  
素晴らしい集中力を発揮し、作業に取り組みました。



令和6年・辰年の  
カレンダー完成  
記念日に印をつけます！

さかほぎょうちえん  
さるびあ

コロナの頃はこんな活動はできなかった。今年になって増えました。本当に楽しいです。よかったです。



# 「家庭の日」の取り組み

## ■家庭の日とは

「家庭の日」運動は、1955年(昭和30年)に鹿児島県の小さな町で生まれました。家庭の中での家族の絆が薄れつつあることから「**家庭を大切に**」という願いと、当時ほとんど休みのなかった農業従事者のための「農休日」という考えが一緒になって生まれました。

岐阜県では、昭和42年に**岐阜県家庭の日を定める条例**を設置し、毎月第3日曜日を「家庭の日」と決めました。

**家庭は、ふれあいと安らぎの場であるとともに、青少年の人格が形成される基盤です。**また、**人との関係のあり方や社会のルールを学ぶ場**でもあります。

これらのことを家庭や地域が再認識し、「**心豊かで明るい家庭**」づくりを進めることが望まれています。「家庭の日」をきっかけにして、家庭の大切さや家族のあり方について見つめ直してみましょ

## ■たとえば、こんな「家庭の日」を過ごしてみませんか

- テレビやインターネット、携帯電話から距離を置き、家族の団らんや話し合いの時間を作りましょ

家族みんなが集まって、今日あったことを楽しく話し合いましょ。大人は、子どもの話を最後まで聞ける心のゆとりを持ちましょ。家族の絆づくりは、まず会話からです。

家庭の日は、インターネットを使わない「ノーネットデー」としませんか。

- 家族そろって「いただきます」。家族で食事をする機会を持ちましょ。

家族で食卓を囲んでコミュニケーションを図ることは、健康な身体をつくと共に豊かな人間性を育みます。休日には家族そろって、ゆっくりと会話をしながら、食事をしましょ。

- 家族みんなで協力して、仕事を分担して、お互いを支え合いましょ。

掃除や食事の準備など、簡単なことでも家族が分担すれば、家族が助け合って生活することの大切さが実感できます。

- 地域の行事やボランティア活動などに、家族みんなで参加して地域の人々と交流しましょ。

近所の大人や異なる年齢の子どもたちと触れあうことは、子どもの社会性を育てることになります。また、地域の方とのつながりは、親にとっても大切なことです。

- スポーツやレクリエーション、芸術鑑賞など、家族で一緒に楽しみましょ。

家族でスポーツやレクリエーションに参加したり、芸術鑑賞をしたりと、家族で過ごす楽しい時間を作りましょ。一緒に楽しむ中で、家族の理解が深まります。



岐阜県

環境生活部 私学振興・青少年課 青少年係発出の資料より